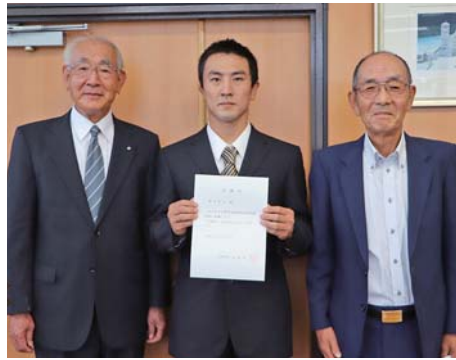


新・鳥獣被害対策実施隊員を紹介します

産業課農林係 ☎(64)8319

地域おこし協力隊 妻木さんの活躍に期待



左から茂原町長、妻木さん、宇佐美隊長

茂原町長からは「鳥獣被害は、住民の生活に影響を及ぼしているが、多くの隊員が活動してくれていて、特に地域おこし協力隊として町に来てくれた妻木さんの活躍を期待している。隊長の指導のもと、町の被害軽減に努めてもらいたい」と、宇佐美秋夫実施隊長からは「先輩のアドバイスを聞き、安全対策を十分図り事故のないよう頑張ってもらいたい」とそれぞれ激励しました。

町鳥獣被害対策実施隊員の委嘱状交付式が10月12日、役場で行われました。

昨年9月に地域おこし協力隊員として活動を始めた妻木洋夫さんは、協力隊の活動の一つとして狩猟免許などを取得し鳥獣被害対策実施隊員として委嘱を受けました。

妻木さんは「安全を第一に隊長以下諸先輩の指導のもと、町の鳥獣被害減少の一助になりたい」と意気込みを語りました。

今後、イノシシやシカなどによる町内の農林業被害減少を図るため、有害鳥獣の捕獲業務にあたっていきます。

鳥獣被害対策実施隊ってどんなことをしているの？

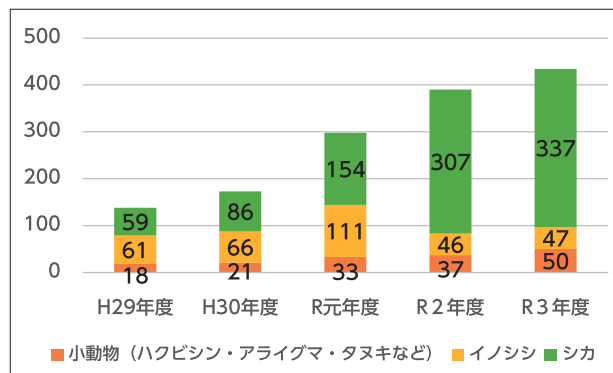
実施隊は鳥獣被害の発生地域で、鳥獣の足跡を探りながら捕獲に適した場所に「箱わな」や「くくりわな」を仕掛けたり、冬には山間部で銃器による捕獲作業を行います。その他、鳥獣の生息状況、被害発生地域・場所の調査も担っています。

小型で軽量の「くくりわな」

踏み板を踏むと、レールに巻きつけておいた輪が上に跳ね上がり、輪が締まって獣の足を捉える仕組みです。



町内の有害鳥獣の捕獲頭数



鳥獣の目撃情報や被害に遭った場合、わな設置についてのご相談は農林係までご連絡ください。

隊員は狩猟免許保有者で、現在33人が在籍しています。農林業被害を最小限に留めるため日々活躍しており、鳥獣の捕獲頭数も年々増加し続けています。

推 少 青



考えて 傷つく相手の 悲しみを 大丈夫？ その思いやりを 大切に

(新屋小6年 平石剛輝) (甘梁中1年 桐生大世)

甘梁町青少年育成推進員連絡協議会が令和3年度に募集した「少年の目」標語の最優秀賞作品です。(学年は3年度・敬称略)

毎月 第1土曜日 少年の日

伝統の技と想いを

次の世代へ引き継ぐ

― 木工藝 人間国宝 須田賢司さん ―

重要無形文化財「木工藝」保持者（人間国宝）で名誉町民の須田賢司さん（小幡）が、10月10日から15日までの6日間、須田木工藝工房において『木工藝』伝承者養成研修会（前期）を開きました。

文化庁の事業を活用し（公社）日本工芸会主催で行われ、同会の会員の中から選ばれた6人が全国各地から集まりました。



参加者は自身の作品を持ち寄り、須田さんが作品に対する講評を行ったり、参加者同士で意見を交わしました。また、実習では木材に精密な印を付けるための木工具「罫引き」を制作し、後期（今月開催）には、その道具を使い「入れ子の升」を作る予定です。

須田さんは「自分の持っている技術と木工藝の文化、心構えや想いを一人でも多くの人に伝え、後進の木工藝作家を育てていきたい」と語られました。

研修会は、木工藝の技法に加え、作品づくりにかける須田さんの世界観を学ぶことができ、伝統の技と想いを次の世代へ引き継ぐ貴重な機会となりました。



須田さんの指導に聞き入る参加者



参加者の作品について意見交換

作品の紹介

長岡今朝吉記念ギャラリーでは、町が所蔵している須田さんの作品4点を展示しています。

場所 長岡今朝吉記念ギャラリー

（大字小幡544-2）

☎(74)7575

時間 午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

休館日 毎週月曜日

（祝日の場合は翌日）

観覧料 高校生以上 200円

中学生以下 無料

かえでふきうるしはこ ひよく
◀ 楓拭漆箱 「比翼」



かえでふきうるしはこ ふうもん
▶ 楓拭漆箱 「風紋」



甘楽町×ハルビン市 友好交流 30周年記念 vol.4

連載4回目の今回は、青少年交流以外の取り組みをご紹介します！

■ 問い合わせ 企画課企画調整係 ☎ 74-3133

中国からの研修生の受け入れ

ハルビン市との友好交流の初期において、日本の工業や行政などを学ぶハルビン市研修生の受け入れを行っていました。

研修生は1年ほど滞在し、企業や役場などで研修に励むとともに、地域の人たちとの「ふれあい」や地元文化の体験などにより交流を深めていました。



ハルビン市行政研修生



ハルビン市工業研修生

甘楽町国際交流振興協会もハルビン市を訪問

甘楽町国際交流振興協会は、町の国際交流親善事業を推進することを目的として設立され、語学講座や国際交流イベントの開催、交流都市との使節団の派遣・受け入れなどの活動に取り組んでいる団体です。

2015(平成27)年には、協会員による訪問団がハルビン市を訪問し、交流事業の協議などを行いました。



ハルビン市訪問時の夜景



国交振ハルビン市訪問団

3市町のさらなる友好交流促進を願って！

2019(令和元)年11月、町発足60周年記念式典に合わせ、ハルビン市とイタリア共和国チェルタルド市から使節団が来町しました。滞在中、両市と甘楽町は「友好交流の促進に関する覚書」を締結し、さらなる交流促進を誓いました。

2020(令和2)年の新型コロナウイルス感染症の流行当初には、深刻なマスク不足に陥っていたチェルタルド市へハルビン市からマスクが贈られるなど、新たな協力体制も築かれました。



覚書締結式



▲ 友好交流の促進に関する覚書

4言語による「ごみの出し方動画」を作成

■企画課企画調整係 ☎(74)3133

外国人にも暮らしやすい町に

多文化共生社会の実現

現在、さまざまな国の人が町で生活しています。

町内事業所における外国人材の雇用状況やニーズをアンケート調査した結果、重点課題の一つに「ごみの出し方」が挙げられました。言葉や文化の違いにより、分別方法や出し方が正しく伝わらず、トラブルにつながりやすいことが分

かりました。

町では「ごみの出し方パンフレット」を配布してきましたが、より理解しやすいよう中国語・ベトナム語・英語・日本語の4言語に対応した動画を作成しました。

制作には、町と包括連携協定を締結している高崎商科大学の外国人留学生などに翻訳や動画出演などで協力してもらい、外国人にも分かりやすい動画に仕上がりました。

完成した動画は、町の公式動画チャンネルに掲載しており、町内の事業所を通じて外国人に周知し、多文化共生社会を一層推進していきます。



▲動画はこちらから

友だちや知り合いに教えてね



試写会に出席した関係者の皆さん

紹介します

人権擁護委員

任期 令和4年10月1日から3年間

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間の人で地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守る役割を担っています。全国の各市町村に配置され、人権相談などの活動を行う一番身近な相談相手です。



神道良則さん
(新任・秋畑)



横山美幸さん
(新任・福島)

企業版ふるさと納税

甘楽の天然水商品化プロジェクト

事業の趣旨に賛同し、右の企業が寄附されました。

(10月14日入金確認まで。公表希望のみ掲載)

企業名	金額
岩井建設株式会社(富岡市)	公表希望なし
株式会社オウギ工設(前橋市)	公表希望なし
株式会社利根設計事務所(前橋市)	500,000円

●●● 善意に深く感謝し、広く皆さんにお知らせします ●●●